

健康福祉審議会障害者分科会資料

平成 2 9 年 6 月 2 9 日

## 資料2

# 第 4 期加賀市障がい者計画の進捗状況について

第4期障がい者計画に沿って、平成28年度の実績を示しています。

(障がいのある人のサポートプラン (第4期加賀市障がい者計画・障がい福祉計画41ページ～60ページ参照))

## 1. 暮らしの基盤づくり

### (1) 保健・医療

#### ① 疾病の予防と早期発見・早期対応の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	健康診査体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4か月半児、1歳6か月児、3歳2か月児の各健康診査を実施し、障がいの早期発見・早期対応につなげるとともに、育児不安のある保護者の支援を行います。</li> <li>○ 乳幼児健康診査未受診者の把握と受診率の向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受診率 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4か月半児 98.8%</li> <li>・ 1歳6か月児 97.2%</li> <li>・ 3歳2か月児 97.0%</li> </ul> </li> <li>○ 各種健康診査未受診者把握率100%</li> <li>※平成36年度目標値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受診率 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4か月半児 97.6%</li> <li>・ 1歳6か月児 96.1%</li> <li>・ 3歳2か月児 97.7%</li> </ul> </li> <li>○ 各種健康診査未受診者把握率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受診率 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4か月半 98.1%</li> <li>・ 1歳6か月 98.4%</li> <li>・ 3歳2か月 97.9%</li> </ul> </li> <li>○ 各種健康診査未受診者把握率100%</li> </ul>	健康課
2	健康診査後の事後指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 乳幼児健康診査で把握した、経過観察が必要と思われる子どもとその保護者に対し、健康相談等必要な事後指導を行い、一人ひとりに応じた支援を行います。</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児相談参加率73.6%</li> <li>幼児相談参加率60.6%</li> <li>その他訪問等にて継続的支援必要者へは全数支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児相談参加率78.5%</li> <li>幼児相談参加率70.0%</li> <li>その他訪問等にて継続的支援必要者へ支援している。</li> </ul>	健康課
3	発達障がい等への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健・医療・福祉間の連携を強化し、就園・就学・就労を通じて切れ目のない支援を行い、発達障がいの早期発見と早期対応に努めます。</li> <li>○ 発達の遅れやその疑いのある子どもが適切な支援を受けられるよう配慮します。</li> <li>○ 発達障がい等について、石川県や関係団体等との連携のもと情報提供等を行い、幅広く市民への知識の普及に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)発達支援センターの整備</li> <li>※計画期間内目標値</li> <li>(子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合を増やすこと。目標値は調査後に、平成36年度目標値として設定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「こども育成相談センター」を4月に開設し、支援対象を18歳までに拡大した。ことばの相談の開催、支援者の人材育成、関係機関との連携を図りながら、支援体制の強化を図った。</li> <li>○ 支援者のためのサポートコーチ派遣事業を実施した。</li> <li>○ ことばと学びの巡回訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ことばの相談、こども育成支援会議等継続実施し、支援者の人材育成や関係機関との連携の強化を図り支援を行った。</li> <li>○ 支援者のためのサポートコーチ派遣事業を実施した。</li> <li>○ ことばと学びの巡回訪問 特別支援教育にたずさわ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい福祉課</li> <li>子育て支援課</li> <li>健康課</li> <li>学校指導課</li> </ul>

				特別支援教育にたずさわる教員による市内全園への訪問実施	る教員による市内全園への訪問実施	
4	成人の健康診査の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活習慣病の予防に向けて、特定健康診査や特定保健指導を計画的に実施し、受診率又は実施率の向上に努めます。</li> <li>○ 障がいの原因となる疾病の予防に向け、大腸がん等のがん検診を行い、受診率の向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診受診率 60.0%</li> <li>○特定保健指導実施率 60.0%</li> <li>○大腸がん検診受診率 40.0%</li> </ul> <p>※平成29年度目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診受診率 43.8% (H26法定報告)</li> <li>○特定保健指導実施率 69.3% (H26法定報告)</li> <li>○大腸がん検診受診率 18.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診受診率 44.1% (H27年度法定報告)</li> <li>○特定保健指導実施率 80.8% (H27年度法定報告)</li> <li>○大腸がん検診受診率 18.0%</li> </ul>	健康課

## ② 健康の保持・増進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	生活習慣病予防知識の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活習慣病の予防、健康の保持・増進を図るため、健康教育及び健康相談の充実に努めます。</li> <li>○ チラシの配布や広報掲載等の方法により、市民の生活習慣病の予防及び健康増進に努めます。</li> </ul>	<p>生活習慣病予防知識の普及・啓発のため、広報等による周知を少なくとも年度内に1回実施</p> <p>※単年度ごとの目標値</p>	<p>毎月「広報健康だより」掲載 7月広報にダイジェスト版折込 総合健康相談：781人(282回) 重点健康相談：919人(266回) 健康教育156回 4,703人</p>	<p>毎月「広報健康だより」掲載 7月広報にダイジェスト版折込 総合健康相談：855人(219回) 重点健康相談：813人(142回) 健康教育141回 4,087人</p>	健康課
2	健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民一人ひとりの生涯にわたる健康的な生活の実現を図るため、健康応援プランに基づき、市民と行政が一体となった健康づくりの推進に努めます。</li> </ul>	<p>健康応援プラン 記載のとおり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり推進協議会や保健推進員協議会、食生活改善推進協議会等の関係機関と協働で地域の実情に合わせた健康づくりの啓発普及、生活習慣病予防事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり推進協議会や保健推進員協議会、食生活改善推進協議会等の関係機関と協働で地域の実情に合わせた健康づくりの啓発普及、生活習慣病予防事業を実施。また、庁内健康づくりワーキングの関係課と協働事業を実施。</li> </ul>	健康課

### ③ 医療サービスの充実

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	医療費の助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心身医療費助成制度により、障がいのある人の経済的負担を軽減し、必要な医療を受けやすくします。</li> <li>○ 制度拡充に係る石川県心身障害者医療費助成事業費補助金交付要綱の見直しについて、石川県に働きかけます。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○65歳未満は現物給付、65歳以上は償還払いにて実施。</li> <li>○手帳交付時に制度説明と申請を求め、周知と実施の徹底を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○65歳未満は現物給付、65歳以上は償還払いにて実施。</li> <li>○手帳交付時に制度説明と申請を求め、周知と実施の徹底を行っている。</li> </ul>	ふれあい福祉課

## (2) 生活支援サービス

### ① 障害福祉サービス等の充実

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	加賀市じりつ支援協議会の運営強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健・医療、教育・療育、雇用などの関係者、相談支援事業者、サービス提供者、当事者団体、行政機関などで構成する加賀市じりつ支援協議会において、相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関するシステムづくりを進めます。</li> <li>○ 加賀市じりつ支援協議会における協議を通じて、本市における障害福祉サービス等の量的及び質的な充実を図ります。</li> <li>○ サービス提供事業所におけるサービスの向上及び均質化を図るため、サービス提供事業所職員の意識改革を図ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○年3回障がい福祉全体会を開催し、現状・課題の情報共有、地域資源の開発・改善の検討を行い、整理した課題の中から「ヘルパー不足」を取り上げ、新ワーキンググループとして、「ヘルパーワーキング」が立ち上がった。</li> <li>○加賀市地域生活支援事業の評価を行った</li> <li>○ワーキンググループにおいて、福祉制度や障がい特性について、福祉施設職員を対象とした学習会を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域課題について、ワーキンググループがアンケートを実施し、考察結果を障がい福祉全体会でも取り上げ、じりつ支援協議会の運営活性化を図った。</li> <li>○ワーキンググループが、3障がい連絡協議会の運営をサポートした。</li> <li>○加賀市地域生活支援事業の評価を行った。</li> <li>○ワーキンググループにおいて、障がい者差別解消法について福祉施設職員を対象とした学習会を開催した。</li> </ul>	ふれあい福祉課

## ② 生活の場の確保

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	グループホームの整備促進	○ 地域における生活の場となるグループホームの整備を促進するため、建設地における地域住民の理解に努めます。	新規事業所 1 箇所以上 ※計画期間内目標値	○平成27年度整備なし。 (平成28年度 1 箇所整備予定)	○平成28年度 1 箇所整備	ふれあい福祉課
2	住宅改修の推進	○ 障がいのある人が居住する住宅の居室、浴室、トイレ等を障がいのある人が住みやすいように改修することの必要性を認識し、相談支援専門員等関係者のリハビリテーション意識の向上に努めます。		○相談支援専門員を対象としたスキルアップ研修を開催し、ほっと安心の家の視察、技術支援に関する勉強会を行った。	○相談支援専門員等関係者が利用しやすいよう、障がいのある人の福祉ガイドブックに、小規模な住宅改修を伴う居宅生活補助用具等のイラストを掲載した。	ふれあい福祉課

## ③ 地域生活支援の体制整備の促進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	加賀市じりつ支援協議会の運営強化	○ 保健・医療、教育・療育、雇用などの関係者、相談支援事業者、サービス提供事業者、当事者団体、行政機関などで構成する加賀市じりつ支援協議会において、相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関するシステムづくりを進めます。 ○ 障がいのある人等が地域において生活を維持し、継続していけるような支援体制の構築を図ります。	成果目標と同じ (地域生活支援拠点等を市内又は広域内に少なくとも 1 箇所以上設置) ※計画期間内目標値	○地域生活支援拠点については未設置である。	○地域生活支援拠点については未設置である。	ふれあい福祉課

### (3) 相談支援・情報提供

#### ① 相談支援体制の充実

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	委託相談支援事業所数の適正化	○ 本市の障がい者手帳所持者の状況、障害福祉サービス等の利用状況、相談支援専門員の相談業務の実態等を勘案して、本市における望ましい相談支援のあり方を明らかにし、適正な実施箇所数の確保を図ります。	委託相談支援事業所を市内の生活圏域を基礎として5か所設置 ※計画期間内目標値	○平成27年度4月より5か所設置。	○平成28年4月は、1か所減の4か所となったが、10月より5か所設置。	ふれあい福祉課
2	相談支援専門員の資質向上	○ あらゆる問題に対して的確に対応できるよう、研修会等を通じて、相談支援専門員の資質向上を図ります。	研修会を少なくとも年度内に1回開催 ※単年度ごとの目標値	○県リハビリテーションセンターの視察及び学習会の実施。 ○市内理学療法士・作業療法士との技術支援に関する勉強会を開催。	○権利擁護や虐待防止についての研修会を実施。	ふれあい福祉課
3	障がい者相談員の資質向上	○ 地域と行政等関係機関とのパイプ役としての役割を担う障がい者相談員の自覚を促すとともに、相談業務に必要な情報提供を図ります。	研修会を少なくとも年度内に1回開催 ※単年度ごとの目標値	○県研修会への参加支援。 市研修会の開催。	○県研修会への参加支援。 市研修会の開催。	ふれあい福祉課
4	相談支援事業所等の周知徹底	○ 相談支援事業所の所在地等を示すポスターの掲示やカードの配布などにより、相談支援事業所の周知を図ります。 ○ 併せて、地域に配置した障がい者相談員の周知を図ります。	相談支援事業所周知ポスターの毎年度更新 ※単年度ごとの目標値	○作成したポスターを医師会を通じて医療機関への掲示を依頼し、相談事業所の周囲を図った。 ○作成したカードを手帳交付時に配布した。	○作成したポスターを医師会を通じて医療機関への掲示を依頼し、相談事業所の周囲を図った。 ○作成したカードを手帳交付時に配布した。	ふれあい福祉課
5	相談支援機能強化事業（相談強化）の充実	○ 相談支援事業が適正かつ円滑に実施されるよう、加賀市じりつ支援協議会の運営強化等により、相談支援機能の充実を		○専門職を配置し、困難ケースへの対応及び事業所、他関係機関への専門	○専門職を配置し、困難ケースへの対応及び事業所、他関係機関への専	ふれあい福祉課

		図ります。		的助言提言を行うこと で、相談に関する強化を 実施。	門的助言提言を行うこ とで、相談に関する強化 を実施。	
--	--	-------	--	----------------------------------	-----------------------------------	--

## ② 情報提供の充実

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	点訳・音訳の推進	○ 点訳・音訳する行政情報の範囲を拡大し、必要な情報の提供に努めます。		○平成28年度の広報折込の点訳・音訳の実施に向けて、庁内関係課との調整を図った。	○広報折込の点訳・音訳を実施した。	ふれあい福祉課
2	情報伝達手段の充実・拡大	○ 誰もが必要な情報を入手できるよう、障がい特性に配慮した、多様な方法による情報提供のあり方について検討します。		○タブレットを導入し、福祉用具閲覧や手話等による意思疎通支援が可能となった。	○タブレットを活用し、福祉用具の閲覧や手話等による意思疎通支援を行った。	ふれあい福祉課
3	手話通訳者・要約筆記者の派遣	○ 聴覚、言語機能、音声機能その他の障がいのために意思疎通を図ることが困難な人の意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者・要約筆記者を派遣します。		○手話通訳の資格を持つ職員を1名採用し、派遣依頼に対する対応力を強化した。	○市登録の手話通訳者を6名、要約筆記者を3名増員し、派遣依頼への対応力を強化した。	ふれあい福祉課
4	手話・要約筆記・点訳・音訳各奉仕員養成講座等の開催	○ 情報提供を担う人材を確保するため、手話・要約筆記・点訳・音訳の各奉仕員養成講座等を開催します。	継続的な講座開催 ※単年度ごとの目標値	○手話入門及び基礎講座、要約筆記入門講座、点訳講座、音訳講座を開催した。	○手話入門及び基礎講座、要約筆記入門講座、点訳講座、音訳講座を開催した。	ふれあい福祉課

### ③ 権利擁護の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	成年後見制度及び日常生活支援事業の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい等のために判断能力が十分でない人が不利益を被らないように保護し、支援する成年後見制度について、その周知を図ります。</li> <li>○ 成年後見制度の利用が必要であるにもかかわらず、その利用が困難な障がいのある人が成年後見制度を利用することができるよう、制度の利用を支援します。</li> <li>○ 判断能力が十分でない障がいのある人が、地域でじりつした生活を送ることができるよう、社会福祉協議会の日常生活支援事業による、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市長申立て件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2件（ふれあい福祉課）</li> <li>・10件（長寿課）</li> </ul> </li> <li>○報酬助成件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1件（ふれあい福祉課）</li> <li>・5件（長寿課）</li> </ul> </li> </ul> <p>※単年度ごとの目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市長申立て件数（要請書受理件数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・1件（ふれあい福祉課）</li> <li>・6件（長寿課）</li> <li>・5件（地域福祉課）</li> </ul> 計 12件 </li> <li>○報酬助成件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・0件（ふれあい福祉課）</li> <li>・3件（長寿課）</li> <li>・0件（地域福祉課）</li> </ul> 計 3件 </li> <li>○成年後見センター「ほっこり」による関係者への相談窓口と事業の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市長申立て件数（要請書受理件数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・1件（ふれあい福祉課）</li> <li>・2件（長寿課）</li> <li>・2件（地域福祉課）</li> </ul> 計 5件 </li> <li>○報酬助成件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1件（ふれあい福祉課）</li> <li>・3件（長寿課）</li> <li>・0件（地域福祉課）</li> </ul> 計 4件 </li> <li>○成年後見センター「ほっこり」による関係者への相談窓口と事業の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい福祉課</li> <li>長寿課</li> <li>地域福祉課</li> </ul>
2	障がい者虐待防止のための体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者虐待防止等に関する広報その他啓発活動を行い、障がい者虐待防止を徹底します。</li> <li>○ 市障がい者虐待防止センター機能を相談支援事業所に委託することで、とりわけ夜間・休日における通報・届出及び虐待発生時の対応に係る体制の確立を図ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演会の開催や虐待防止周知カードの配布を行った。</li> <li>○相談支援事業所への虐待防止センター機能の委託により、365日24時間の対応が可能となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演会の開催や虐待防止周知カードの配布を行った。</li> <li>○相談支援事業所への虐待防止センター機能の委託により、365日24時間体制で対応を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい福祉課</li> </ul>



## 2. じりつと社会参加の基盤づくり

### (1) 障がいのある子どもの育成・教育

#### ① 早期療育の充実

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	障がいのある子どもへの相談支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達の遅れが気になる子どもやその保護者等からの相談に対し、保健・保育・福祉・教育が連携して対応し、助言や情報提供等の支援を行うための体制整備を図ります。</li> </ul>	(仮称)発達支援センターの整備 ※計画期間内目標値	○1 暮らしの基盤づくり(1)①の3と同じ	○1 暮らしの基盤づくり(1)①の3と同じ	ふれあい福祉課 子育て支援課 健康課 学校指導課
2	保育及び就学前教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある子どもの心身の発達を促すとともに、子どもの障がいに対する理解を深めることを目的として、全ての保育園・幼稚園で障がいのある子どもの受入を行います。</li> <li>○ 保育士や幼稚園教諭等の加配により、障がいのある子どもの受入体制の充実を図ります。</li> <li>○ 専門指導員等による各園への定期的な訪問を行い、専門的な支援を行います。</li> </ul>		○県と市関係機関が連携した「保育者と子どものためのペンギンケア事業」の実施、児童の実情に応じた加配による受入体制の充実、就学相談を実施し、家庭・園・学校と連携し、専門的訪問支援を行っている。	○県と市関係機関が連携した「保育者と子どものためのペンギンケア事業及び保育園巡回相談」の継続実施。児童の実情に応じた加配による受け入れ体制の充実。専門指導員による就学に関する保育園訪問継続実施。	子育て支援課

#### ② 学校教育の充実

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	特別支援学級の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学級に在籍する児童生徒の障がいの程度や特性を考慮し、各学校の特色を活かした教育課程を編成するとともに、教育内容や方法について更に改善・工夫をして、児童生徒一人ひとりに応じた教育の推進に努めます。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月に研修会を開催し、特別支援学級担任へ教育課程編成等について説明。</li> <li>○特別支援学級担任研修会の開催</li> <li>○学校訪問での助言。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月に特別支援学級担任に教育課程編成等について説明を含めた研修会を開催。</li> <li>○学校訪問での助言</li> </ul>	学校指導課

2	特別支援教育研修の充実	○ 小中学校の教職員に対する特別支援教育の理解と認識を一層深めるため、研修の機会を提供します。	研修会を少なくとも年度内に1回開催 ※単年度ごとの目標値	○特別支援教育コーディネーター研修会の開催	○特別支援教育コーディネーター研修会の開催 ○特別支援教育支援員研修会の開催 ○特別支援教育講演会の開催	学校指導課
---	-------------	---	---------------------------------	-----------------------	--	-------

### ③ 障害児通所支援サービスの充実

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	加賀市じりつ支援協議会の運営強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健・医療、教育・療育、雇用などの関係者、相談支援事業者、サービス提供事業者、当事者団体、行政機関等で構成する加賀市じりつ支援協議会において、相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関するシステムづくりを進めます。</li> <li>○ 加賀市じりつ支援協議会における協議を通じて、本市における障害福祉サービス等の量的及び質的な充実を図ります。</li> <li>○ サービス提供事業所におけるサービスの向上及び均質化を図るため、サービス提供事業所職員の意識改革を図ります。</li> </ul>		○1 暮らしの基盤づくり(2)①の1と同じ	○1 暮らしの基盤づくり(2)①の1と同じ	ふれあい福祉課

## (2) 雇用・就労

### ① 一般就労のための雇用の場の拡大

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	企業等への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある人の一般就労を促進するため、市内の企業を訪問して、障がいのある人の雇用について理解を求めます。</li> <li>○ 障がいのある人の一般就労を促進するため、障害者雇用促進法に規定する法定雇用率規制対象外の市内企業等にリーフレット等を送付し、障がいのある人の雇用について理解を求めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業訪問 市内に本店又は主たる事業所を有する事業所44社全社の計画的訪問</li> <li>※計画期間内目標値</li> <li>○ PR事業 障害者雇用促進法に規定する法定雇用率規制対象外の事業所への継続的な情報提供</li> <li>※単年度ごとの目標値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法定雇用率規制対象事業所へ、第4期期間中の計画的訪問を行った。</li> <li>○ 法定雇用率規制対象外の事業所へは、就労促進のためのPR・啓発パンフレットを作成し、約220社へ送付を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法定雇用率規制対象事業所へ、第4期期間中の計画的訪問を行った。</li> <li>○ 一般企業人事採用担当者を対象に研修を行った。</li> <li>○ 法定雇用率規制対象外の事業所には、就労促進のためのPR・啓発パンフレットを作成し、約210社へ送付した。</li> </ul>	ふれあい福祉課
2	就労支援ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある人の一般就労を促進するため、小松市・加賀市・能美市・川北町の3市1町の関係者で構成された南加賀就労支援強化連絡会に参画し、連携を図ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 南加賀就労支援強化連絡会において、年2回発行の広報誌「クローバー」作成に参画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 南加賀就労支援強化連絡会において、年2回発行の広報誌「クローバー」作成に参画。</li> </ul>	ふれあい福祉課

### ② 個々の特性に応じた就労支援

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	福祉的就労の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就労系事業所で働く障がいのある人の工賃水準の向上等就労環境向上を図るため、当該事業所職員の資質向上を図るとともに、当該事業所製品の販路拡大等に関する研修会を開催します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会を少なくとも年度内に1回開催</li> <li>※単年度ごとの目標値</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就労環境向上のための研修会を福祉事業所を対象に実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉就労施設と一般企業のマッチングを行い、販路拡大につなげた。</li> </ul>	ふれあい福祉課
2	障害者優先調達推進法の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市が発注する物品又は役務の調達のうち、就労系事業所が受注可能な物品又は</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去3年間の調達実績額の平均値を上回ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実績額 2,335,319円 (目標値：2,039,983円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実績額 2,529,539円 (目標値：2,209,470円)</li> </ul>	財政課 ふれあい福祉課

		役務について、就労系事業所へ発注するよう努めます。 ○ 障害者優先調達推進法の趣旨に則り、広く市民等に対しても、就労系事業所の利用について働きかけを行います。	※単年度ごとの目標値	○広報紙による周知啓発記事の掲載	○広報紙による周知啓発記事の掲載	
3	相談支援機能強化事業（就労強化）の充実	○ 障がいのある人の一般就労を促進するため、一般就労を希望する障がいのある人がその能力と適性に応じた就労ができるよう、体制整備に努めます。 ○ 就労系事業所で働く障がいのある人の工賃水準の向上等就労環境向上のための取組を行います。		○企業訪問を実施。 ○福祉事業所と企業のマッチングの支援を実施。	○企業訪問を実施。 ○福祉事業所と企業のマッチングの支援を実施。	ふれあい福祉課

### (3) スポーツ・文化芸術活動

#### ① スポーツ活動の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	加賀市障がい者スポーツ大会の開催	○ スポーツの楽しさを体験し、スポーツを通じた社会参加を促進するため、障がい者スポーツ大会への参加を促進します。 ○ 障がい種別に関わらず、誰もが広く参加できるプログラムの実行に努めます。 ○ 障がいのある人のスポーツ活動への参加を支援するため、ボランティアや指導員の育成に努めます。	障がい者スポーツ大会参加者数が前年度実績を上回ること。 ※単年度ごとの目標値	○加賀市障害者スポーツ大会参加者数 平成26年 185人 平成27年 196人	○加賀市障害者スポーツ大会参加者数 平成28年 194人 ○加南地区スポーツ推進委員研修会で、障がい者スポーツ（シッティングバレー、テーブルバレー）を体験。参加者10人	ふれあい福祉課 スポーツ課
2	スポーツ教室の開催	○ スポーツ活動を普及し、一人でも多くの人気が気軽に参加できるスポーツ教室を開催します。	スポーツ教室の参加者数が前年度実績を上回ること。 ※単年度ごとの目標値	○参加者数（全9回） 平成26年度 274人 平成27年度 255人 ○スポーツ関係団体の事業 213人	○参加者数（全12回） 平成28年度 287人 ○スポーツ関係団体の事業 参加者 296人	ふれあい福祉課 スポーツ課

## ② 文化芸術活動の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	作品展の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある人が制作した作品を展示する機会を提供する作品展を開催し、障がいのある人の創作意欲の向上を図ります。</li> <li>○ 作品展の展示作品を通じて、障がいや障がい者理解の促進を図ります。</li> </ul>	作品展の観覧者数が前年度実績を上回ること。 ※単年度ごとの目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある方の作品173点を展示</li> <li>○ 作品展観覧者数 平成26年度 237人 平成27年度 355人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある方の作品151点を展示</li> <li>○ 作品展観覧者数 平成28年度 365人</li> </ul>	ふれあい福祉課

## 3. 人にやさしいまちづくり

### (1) 安全・安心のまちづくり

#### ① ユニバーサルデザインの推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	バリアフリー新法に基づく基本構想の策定	○ 市街中心地において、駅・道路・建物などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進していくため、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）に基づく基本構想の策定に努めます。		○バリアフリー新法に基づく基本構想は未策定である。	○バリアフリー新法に基づく基本構想は未策定である。	ふれあい福祉課 土木課 都市計画課 建築課
2	ユニバーサルデザインの推進	○ 全ての人々が安全で快適に暮らせるよう、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた基本方針の策定に努めます。		○バリアフリー新法に基づく基本構想は未策定である。	○バリアフリー新法に基づく基本構想は未策定である。	ふれあい福祉課 都市計画課

## ② 安全な移動の確保

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	公共交通体系の充実	○ 外出時において、移動に支障のある障がいのある人はもとより、自動車の運転ができない市民の移動手段の確保に努めます。	公共交通機関の市内網羅率100% ※計画期間内目標値	○平成27年10月より乗合タクシーの運行を市内全域で開始したことにより、公共交通機関の市内網羅率は100%となった。	○路線バスの運行支援及び乗合タクシーの運行により、公共交通機関の市内網羅率は100%である。	企画課
2	移動支援事業の充実	○ 移動支援事業を担うガイドヘルパーの資質向上を図ります。 ○ 屋外での移動が困難な障がいのある人の社会参加を促進するため、要件等の見直しを検討します。		○ニーズに即してガイドライン（平成26年度策定）の見直し対応を随時行う。	○ニーズに即してガイドライン（平成26年度策定）の見直し対応を随時行う。	ふれあい福祉課

## ③ 防災・防犯対策の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	加賀市地域見守り支えあいネットワーク制度の推進	○ 災害時に自力で避難することが困難な障がいのある人に対し、地域見守り支えあいネットワークの登録を勧奨します。 ○ 災害時に自力で避難することが困難な障がいのある人の情報等が記載された名簿を、地域の支援者等（町内会や民生・児童委員等）に提供し、援護が必要な障がいのある人をあらかじめ把握できる体制整備を推進します。	○地域見守り支えあいネットワーク登録者 ・27年度 3,200件 ・31年度 3,600件 ○避難行動要援護者名簿の町内会への配布 ・27年度 190町 ・31年度 282町 (全町 H26 281町→282町)	○登録者 3,021人（うち障がいのある方817人） ○名簿配布した町内会 260町	○登録者 2,915人（うち障がいのある方805人） ○名簿配布した町内会 269町	地域福祉課 ふれあい福祉課 長寿課
2	福祉避難所の充実	○ 災害時において、一般的な避難所では生活に支障を来す障がいのある人のために、何らかの特別な配慮がされた福祉避難所の設置を推進するとともに、充実を図ります。		○65施設と協定（うち障がい者施設11）	○67施設と協定（うち障がい者施設11）	地域福祉課 ふれあい福祉課 長寿課

3	防災意識の向上	<p>○ 加賀市防災協議会と連携し、自助・共助の精神に基づき、防災に関する広報や防災訓練等の機会を通じて、防災知識の普及啓発に努めるとともに、防災意識の向上を図ります。</p>	<p>○防災意識向上のため、広報等による周知を少なくとも年度内に1回実施 ※単年度毎の目標値 ○全ての地区における防災訓練の実施 ※計画期間内目標値</p>	<p>○広報による防災に関する記事の掲載(1回) ○ケーブルテレビによる災害に関する知識講座の実施(3回) ○総合防災訓練は、中学校区単位で開催されている。地区における防災訓練は、総合防災訓練の副会場として3地区で実施。 ○福祉避難所設置訓練の実施。</p>	<p>○ケーブルテレビによる災害に関する知識講座の実施(3回) ○総合防災訓練は、中学校区単位で開催することとしており、1年ごとに校区を変えて実施することで、全校区で開催している。また、総合防災訓練の副会場として2地区で実施した。 ○福祉避難所設置訓練の実施</p>	<p>防災対策課 ふれあい福祉課 予防課 消防署</p>
4	自主防災組織の育成指導	<p>○ 地域における互助・共助の仕組みによる防災体制を促進し、自主防災組織や防災に関する避難行動要支援者を支援する人の育成を図り、障がいのある人の避難や救助のための情報連絡体制の確立を図ります。</p>	<p>全町内会における自主防災組織の結成 ※計画期間内目標値</p>	<p>○1町の自主防災組織の増があり、282町内会中256町で組織が結成されている。</p>	<p>○282町内会中256町で組織が結成されている。</p>	<p>防災対策課 地域福祉課 ふれあい福祉課 予防課 消防署</p>
5	防犯対策の推進	<p>○ 障がいのある人の犯罪被害を未然に防止するため、防犯上必要な知識や情報を提供するとともに、防犯意識の向上及び普及啓発に努めます。</p>	<p>防犯講座を少なくとも年度内1回開催 ※単年度ごとの目標値</p>	<p>○消費者教育出前講座を1回実施</p>	<p>○高齢者等防犯教室(県主催)を7回実施</p>	<p>生活安全課 地域福祉課 ふれあい福祉課</p>

## (2) 障がいと障がいのある人への理解

### ① 広報・啓発の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	障がい者差別解消のための理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいや障がいのある人に対する差別意識を払拭するため、広報、市ホームページ等を通じて、障がいに関する正しい知識の普及に努め、理解の促進を図ります。</li> <li>○ 障害者週間などの機会に合わせて、理解促進のための行事等を開催し、障がいや障がいのある人に対する正しい知識の普及に努め、理解の促進を図ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講演会の開催</li> <li>○ 障害者週間に合わせたふれてみるいしかわの文化展 加賀展・こころふれあうみんなの作品展かがを開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講演会の開催</li> <li>○ 障害者週間に合わせたふれてみるいしかわの文化展 加賀展・こころふれあうみんなの作品展かがを開催した。</li> <li>○ 差別解消のための相談窓口を、ふれあい福祉課に設置した。</li> </ul>	ふれあい福祉課
2	障がい特性に対する理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修等の機会を通じて、障がい種別による障がい特性の理解の促進を図ります。</li> </ul>	研修会を少なくとも年度内に1回開催 ※単年度ごとの目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修会の開催（こころの健康ボランティア講座において公開講座として開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修会の開催（こころの健康ボランティア講座において公開講座として開催）</li> </ul>	ふれあい福祉課

### ② 福祉教育の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	小学生のための手話教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼少期において、手話を通じて聴覚障がいのある人と接することで、障がいに対する先入観や偏見をなくし、「福祉のこころ」を育むための福祉教育を推進します。</li> </ul>	市内全小学校での開催 ※平成29年度目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内の5小学校6クラスで開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内の3小学校5クラスで開催した。</li> </ul>	ふれあい福祉課

### ③ 交流活動の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	自発的活動に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい種別を超えた連合体による活動を支援し、障がい者福祉を支える市民活動につなげます。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3障がい連絡協議会（当事者の会・家族の会）が発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3障がい連絡協議会（当事者の会・家族の会）定例会議を開催。</li> </ul>	ふれあい福祉課



2	児童生徒の交流	○ 障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒の相互理解を深めるため、特別支援学校と小中学校との交流の機会を設けます。	少なくとも学校間交流会を年度内に8回開催 ※単年度ごとの目標値	○学校間交流 10回 内訳：小学部4回、中学部2回、高等部4回 ○居住地校交流 小学部11回	○学校間交流 19回 内訳：小学部4回、中学部10回、中学部・高等部合同5回 ○居住地校交流 小学部6回	学校指導課
---	---------	---	------------------------------------	---	---	-------

### (3) 地域福祉の推進

#### ① 地域福祉活動の推進

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	福祉人材の育成・支援	○ こころの健康ボランティア講座や奉仕員養成講座等の開催を通じて、障がいのある人の支援ができる人材の育成を図ります。 ○ 講座修了者の継続的活動を支援します。	新規ボランティアの養成のほか、これまでの受講者に対するスキルアップ講座の開催 ※単年度ごとの目標値	○こころの健康ボランティア講座の開催。 ○自立支援協議会の構成員によるワーキンググループ「まなびつくす」において研修会を実施。 ○点訳・音訳・手話・要約筆記の奉仕員養成講座を開催。	○こころの健康ボランティア講座の開催。 ○自立支援協議会の構成員によるワーキンググループ「まなびつくす」において研修会を実施。 ○点訳・音訳・手話・要約筆記の奉仕員養成講座を開催。	ふれあい福祉課

#### ② 関係団体との連携

No.	施策	方向性	数値目標	平成27年度実績	平成28年度実績	担当部署
1	当事者団体の活動支援	○ 当事者団体の自主性・主体性を尊重した活動支援を行います。 ○ 障がい種別を超えた活動が促進されるよう、3障がいの連合体による活動を支援し、地域住民との融合を図ります。		○じりつ支援協議会による当事者の会サポート ○3障がい連絡協議会（当事者の会・家族の会）が発足	○じりつ支援協議会による当事者の会サポート ○3障がい連絡協議会（当事者の会・家族の会）定例会議を開催。	ふれあい福祉課 地域づくり推進課